なんでもインフォ 2021.4



発 行　株式会社 昭和土木設計
岩手県矢巾町流通センター南４丁目１−23
Tel 019-638-6834　Fax 019-638-6389

災害対策基本法改正に伴う避難情報の変更

はじめに

近年、気候変動の影響と考えられる集中豪雨や局地的な大雨の増加により、毎年のように大規模な自然災害により、各地で甚大な被害が発生しています。

避難情報は、集中豪雨や台風などによって、自然災害の発生が差し迫り、住民に避難を促す必要がある場合に、市町村が発令する情報であり、避難準備・高齢者等避難開始、避難勧告、避難指示（緊急）、災害発生情報の４種類（3 段階）があります。しかし、令和３年４月 28 日に成立した改正災害対策基本法により、避難情報が、高齢者等避難、避難指示、緊急安全確保の３種類（3 段階）に変更となります。

今回は、災害対策基本法の改正に伴う避難情報の変更点について紹介します。

災害対策基本法改正の経緯

①平成 30 年７月豪雨

平成 30 年６月 28 日から７月８日にかけて、西日本を中心に全国的に広い範囲で発生した集中豪雨であり、この豪雨に伴う水害・土砂災害により、死者・行方不明者 271 人の極めて甚大な人的被害が発生しました（豪雨による平成最大の人的被害）。

②避難勧告等に関するガイドラインの改定

平成 30 年７月豪雨を教訓とし、激甚化・頻発化する豪雨災害に対し、避難対策の強化を検討するため、防災対策実行会議の下に設置した「平成 30 年７月豪雨による水害・土砂災害からの避難に関するワーキンググループ」において議論がなされ、今後実施すべき取組がまとめられました。

この結果を踏まえ、内閣府防災担当では、地方公共団体向けの「避難勧告等に関するガイドライン」を 2019 年３月に改定し、2019 年の出水期から運用が開始されました。

③令和元年台風第 19 号等の災害を踏まえた災害対策制度の見直し

さらに、東北、関東甲信越地方を中心に広域かつ甚大な被害をもたらした令和元年台風第 19 号等を教訓とし、激甚化・頻発化する豪雨災害に対し、避難対策の強化を検討するため、防災対策実行会議の下に設置された、「令和元年台風第 19 号等による災害からの避難に関するワーキンググループ」、「令和元年台風第 19 号等を踏まえた避難情報及び広域避難等に関するサブワーキンググループ」において議論が行われ、報告書が取りまとめられました。

④災害対策基本法の改正に伴う避難情報の変更

サブワーキンググループからの提言を踏まえ、災害対策基本法等の一部を改正する法律案が 2021 年３月５日に閣議決定され、４月 28 日の参議院本会議で成立しました。本改正に伴い、災害発生時に市町村が発令する避難情報の体系が変更となります。

避難情報の変更

2019 年に改定された「避難勧告等に関するガイドライン」では、災害発生の危険度と、とるべき避難行動を直感的に理解しやすくするため、5 段階の警戒レベルが導入され、警戒レベルに応じ、住民がとるべき行動と、行動を促す情報（レベル 1～2：気象庁が発表、レベル 3～5：市町村が発令）が設定されました。

しかし、平成元年台風第 19 号後に人的被害が生じた市町村の住民や自治体に向けてアンケートを行った結果、以下のような課題が見つかりました。

○レベル３の「避難準備・高齢者等避難開始」は、避難に時間がかかる高齢者等に避難を呼びかけるものであるが、名称が長く伝わりにくい。

○レベル４の避難情報に、「避難勧告」、「避難指示（緊急）」があり、違いがわかりにくいことから、本来避難すべき避難勧告の段階で避難できていない。

○レベル５の「災害発生情報」は、取るべき行動がわかりにくく、有効に機能していない。

これらの課題を踏まえ、今回、災害対策基本法が改正されました。この改正により、避難情報は次のように変更されます。

警戒レベル３：「避難準備・高齢者等避難開始」
⇒「高齢者等避難」に簡略化

警戒レベル４：「避難指示（緊急）」、「避難勧告」
⇒「避難指示」に１本化

警戒レベル５：「災害発生情報」
⇒「緊急安全確保」に変更



警戒レベル一覧表（左：改正後、右：改正前）

出典：内閣府 HP（www.bousai.go.jp）より

おわりに

災害発生時に逃げ遅れによる被災を防ぐためには、市町村から避難情報が発令された際に、迅速かつ適切な避難行動をとることが必要となります。

そのためには、日頃から避難情報について正しく理解しておくことが重要と考えます。

（発行）株式会社 昭和土木設計　（岩手県紫波郡矢巾町流通センター南４丁目１番 23 号　Tel 019-638-6834　Fax 019-638-6389）
弊社は道路・河川・橋梁等の計画・設計、BIM/CIM、i-Construction、GIS、IT ソリューション等の業務を行っております。
”なんでもインフォ“のバックナンバーは　https://showacd.co.jp　をご覧ください。